

令和5年第4回（9月）定例会 総務常任委員会報告書

議案番号	議案の名称	審査結果	採決日
議案第 6 7 号	令和5年度宝塚市一般会計補正予算（第4号）	可決 （全員一致）	9月8日
議案第 6 8 号	令和5年度宝塚市特別会計介護保険事業費補正予算（第1号）	可決 （全員一致）	
議案第 6 9 号	令和5年度宝塚市特別会計宝塚市営霊園事業費補正予算（第1号）	可決 （全員一致）	
議案第 7 2 号	宝塚市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決 （全員一致）	
議案第 7 3 号	宝塚市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決 （全員一致）	
議案第 7 4 号	宝塚市職員の災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決 （全員一致）	
議案第 9 3 号	丹波少年自然の家事務組合理約の変更に関する協議について	可決 （全員一致）	
議案第 9 4 号	丹波少年自然の家事務組合の解散に関する協議について	可決 （全員一致）	
議案第 9 5 号	丹波少年自然の家事務組合の解散に伴う財産処分に関する協議について	可決 （全員一致）	

審査の状況

① 令和5年 9月 5日 (議案審査)

・出席委員 ◎桑原 健三郎 ○田中 こう 大島 千都世 梶川 みさお
北野 聡子 田中 美由紀 藤岡 和枝 村松 あんな

② 令和5年 9月 8日 (議案審査)

・出席委員 ◎桑原 健三郎 ○田中 こう 大島 千都世 梶川 みさお
北野 聡子 田中 美由紀 藤岡 和枝 村松 あんな

③ 令和5年10月 4日 (委員会報告書協議)

・出席委員 ◎桑原 健三郎 ○田中 こう 大島 千都世 梶川 みさお
北野 聡子 田中 美由紀 藤岡 和枝 村松 あんな

(◎は委員長、○は副委員長)

令和5年第4回(9月)定例会 総務常任委員会報告書

議案番号及び議案名

議案第67号 令和5年度宝塚市一般会計補正予算(第4号)

議案の概要

補正後の令和5年度宝塚市一般会計の歳入歳出予算の総額

889億1,765万2千円(7億4,897万5千円の増額)

歳出予算の主なもの

増額 出産・子育て応援交付金事業、エネルギー価格高騰対策支援事業、基金管理事業、保育施設等への一時支援金、過年度精算金など

減額 執行額の確定に伴う執行残など

歳入予算の主なもの

増額 地方交付税 普通交付税

国庫支出金 出産・子育て応援交付金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(単独)など

県支出金 保育施設等への一時支援金など

寄附金 緑化基金に対する寄附金など

市債 臨時財政対策債

減額 繰入金 財政調整基金とりくずしなど

繰越明許費

設定 新庁舎・ひろば整備事業など

地方債の補正

変更 臨時財政対策債

論 点 なし

<質疑の概要>

問1 宝塚歌劇市民全席貸切公演に招待する子どもたちの対象者の一つに、18歳以下の生活困窮世帯の子どもとあるが、生活困窮とみなす基準は声かけをする関係協力団体が判断するのか。

答1 市で保有している個人情報を活用して特定の世帯に案内することは難しい。関係協力団体である福祉の窓口では様々な相談を受けており、家庭の状況などを考慮して招待する家庭に声かけをしてもらうこととした。

問2 招待の対象者があまりにも広く、市全体で見ると対象者の項目に当てはまる方全てがその福祉の窓口とつながっているわけではない。公平性が担保されていないのではないかと。また、不公平との声があれば、この支援をいただいた寄附者にも迷惑がかかるのではないかと。

答2 課題としては認識している。家庭の状況等デリケートな部分もあるため、次回以

降検討したい。

問3 生活保護適正実施推進事業のシステム改修業務委託料について、当初予算においても計上されているが、今回の改修と併せて実施し、テストに係る人件費等を節約することはできなかったのか。

答3 当初予算のシステム改修業務委託料については、既に契約済みのため、今回の改修と併せることはできない。

問4 出産・子育て応援交付金について、出産応援給付金と子育て応援給付金対象者が共に750人となっている。令和4年度の実績は子育て応援給付金対象者の方が多かったが、令和5年度に同数とした理由は何か。

答4 出産応援給付金は妊娠届を出されたその場で申請をする方がほとんどだが、子育て応援給付金は生後1か月の赤ちゃん訪問時に申請書を交付し、郵送で受付をするため、支給までに時間がかかっており、年度をまたぐなどの理由から両給付金の支給件数に差異が生じている。妊娠件数と出産件数はほぼ同数であるため、給付見込件数は同数とした。今後は子育て応援給付金の申請から支給までの期間が短くなるよう検討したい。

問5 長寿社会福祉基金に積む2千万円の寄附金について、基金に積むこととした経緯はどのようなものか。

答5 寄附者より高齢者福祉の充実に使ってほしいとのことで寄附があった。具体的に使う施策は決まっていないが、基金に積んで今後検討したいと考えている。

問6 エネルギー価格高騰対策支援事業について、対象をLPガスとした理由は何か。

答6 この事業は国の交付金を活用して行う事業であり、国の推奨事業として、LPガスを使用する事業者を含め、エネルギー価格の高騰の影響を受ける事業者向けの支援が例示されている。都市ガスについては、令和5年2月から10月にかけて国の激変緩和策が取られており、LPガスについては、令和5年8月から10月にかけて兵庫県からLPガス販売事業者を通じて一般消費者向けの負担軽減策は取られているが、市内事業者向けの支援が実施されていない。以上のことから、LPガスを対象に市として支援を実施することとした。

問7 緑化基金に対する2億円の寄附金について、寄附者はきずきの森と隣接した土地をティナちゃんの森として未来永劫そのまま維持してほしいという希望があるそうだが、維持管理について市としてどのように考えているか。

答7 寄附者の希望に沿うように、きずきの森の整備とは分けて取り組みたいと考えている。

自由討議	なし
討論	なし
審査結果	可決（全員一致）

令和5年第4回（9月）定例会 総務常任委員会報告書

議案番号及び議案名	
議案第68号 令和5年度宝塚市特別会計介護保険事業費補正予算（第1号）	
議案の概要	
補正後の令和5年度宝塚市特別会計介護保険事業費の歳入歳出予算の総額 238億3,740万6千円（2億3,760万6千円の増額）	
歳出予算の主なもの	
増額	償還事業
減額	基金管理事業
歳入予算の主なもの	
増額	繰入金 介護給付費準備基金とりくずし
減額	繰入金 介護給付費繰入金
論 点	なし
<質疑の概要>	
問1	介護保険保険者努力支援交付金の宝塚市への交付額は、兵庫県内での順位は何番目か。
答1	この交付金は、各市町村が努力した結果に応じて配分され、交付額が増減する。宝塚市は、県下41市町のうち、今年度の順位は14番目となっている。
自由討議	なし
討 論	なし
審査結果	可決（全員一致）

令和5年第4回（9月）定例会 総務常任委員会報告書

議案番号及び議案名	
議案第69号 令和5年度宝塚市特別会計宝塚市営霊園事業費補正予算（第1号）	
議案の概要	
補正後の令和5年度宝塚市特別会計宝塚市営霊園事業費の歳入歳出予算の総額 2億6,191万6千円（3,344万8千円の増額）	
歳出予算の主なもの	
増額 長尾山霊園管理事業	
歳入予算の主なもの	
増額 一般会計からの繰入金	
地方債の補正	
変更 墓苑整備事業債	
論 点	なし
<質疑の概要>	
問1	長尾山霊園と西山霊園の区画の返還について、もともとの返還想定数と今回の返還増加数は。
答1	長尾山霊園については、例年30から50区画程度の返還があったが、令和5年3月定例会で令和5年末に還付金を廃止する条例が可決されたことを周知してから申出がかなり増えてきた。今回の補正予算で165件まで返還を見込んでいる。現在、70件程度話を聞いており、毎日のように問合せがある状況である。 西山霊園はもともと2件分想定していたが、現在既に3件申請があり、今回の補正予算で6件分見込んでいる。
問2	返還区画の還付金を一般会計から繰り入れることについてルールはあるのか。
答2	特別会計を一本化する前から長尾山霊園と西山霊園については一般会計で予算を持っており、還付金も一般会計から返還していた。特別会計を一本化するに当たり平成29年以前に貸し出した分については、一般会計から繰入れするよう、平成29年に作成した市営霊園の事業計画書の中に記載している。
自由討議	なし
討 論	なし
審査結果	可決（全員一致）

令和5年第4回(9月)定例会 総務常任委員会報告書

議案番号及び議案名
議案第72号 宝塚市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案の概要
兵庫県労働者の最低賃金が改定されることを踏まえて、日額又は時間額で報酬を定める会計年度任用職員の報酬額が最低賃金額を上回るよう、報酬額を改定するとともに、一般職の職員に支給されている勤勉手当について、国家公務員の取扱いに準じ、勤勉手当基礎額に扶養手当を算入しないものとするため、条例の一部を改正しようとするもの。
論 点 なし
<質疑の概要>
問1 一般職の勤勉手当の基礎額に扶養手当を算入しない根拠は何か。
答1 かなり以前から、国では勤勉手当の基礎額に扶養手当を含まないという取扱いになっている。地方公務員法において地方自治体職員の給与は国などの職員の給与に準ずるという原則を踏まえ、速やかに国の給与制度に準ずるべく是正すべきと判断し、労働組合とも長期にわたって交渉した結果、今回の対応となった。
また、勤勉手当が業績報奨であるという趣旨に基づいても、現状の取扱いは不適切ではないかと県から指摘を受けている。
自由討議 なし
討 論 なし
審査結果 可決(全員一致)

令和5年第4回（9月）定例会 総務常任委員会報告書

<p>議案番号及び議案名</p> <p>議案第73号 宝塚市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について</p>
<p>議案の概要</p> <p>国家公務員に準じて支給していた新型コロナウイルス感染症に対処するための防疫手当の特例について、本年5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが新型インフルエンザ等感染症から5類感染症に変更されたことにより、国家公務員が防疫手当の特例の廃止を行ったことに準じて、特例の防疫手当を廃止するため、条例の一部を改正しようとするもの。</p>
<p>論 点 なし</p> <p><質疑の概要></p> <p>問1 新型コロナウイルス感染症が5類になった5月8日以降、本条例が施行される10月6日までの間に新型コロナに関する防疫手当が出ていた業務と同じ業務に従事した場合、防疫手当を支給しない根拠は。</p> <p>答1 地方公務員の給与には、条例上の根拠が必要と法律で規定されており、規定のない手当は出してはいけない趣旨となっている。</p> <p>本市条例は、国の法令を引用しており、新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行したことにより、2類相当の新型コロナウイルスというものがなくなったため支給はできない。</p>
<p>自由討議 なし</p>
<p>討 論 なし</p>
<p>審査結果 可決（全員一致）</p>

令和5年第4回（9月）定例会 総務常任委員会報告書

議案番号及び議案名
議案第74号 宝塚市職員の災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案の概要
新型インフルエンザ等対策特別措置法が改正されたことに伴い、所要の整備を行うため、条例の一部を改正しようとするもの。
論 点 なし
<質疑の概要>
なし
自由討議 なし
討 論 なし
審査結果 可決（全員一致）

令和5年第4回(9月)定例会 総務常任委員会報告書

議案番号及び議案名

議案第93号 丹波少年自然の家事務組合理約の変更に関する協議について

議案第94号 丹波少年自然の家事務組合の解散に関する協議について

議案第95号 丹波少年自然の家事務組合の解散に伴う財産処分に関する協議について

議案の概要

令和6年3月31日をもって丹波少年自然の家事務組合を解散することに伴う丹波少年自然の家事務組合理約の一部変更、同組合の解散及び解散に伴う財産処分に関する協議について、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるもの。

論 点 なし

<質疑の概要>

問1 今後、丹波市が丹波少年自然の家の施設を引き受けるという考えが示されたということだが、その場合、施設を宝塚市が引き続き利用できるかどうかなどの協議を行う予定はあるのか。

答1 この施設は、今後丹波市が活用を模索していくが、丹波市長が引き続き子どもたちが使えるように努力していきたい旨の決意表明をされている。今後、運営が可能となった場合は、利用について積極的に検討していきたいと考えている。

問2 丹波少年自然の家で自然学校を行ってきた歴史は長く、施設の中だけでなく、施設外の地域の方の協力関係があった。今後もそれを生かしてほしいので、施設の補修や改修が終わり、運用される際にはつなげてほしい。教育委員会としては、そこに関心を持ち、情報を得ながら対応していけるのか。

答2 小学校からも、丹波少年自然の家について施設の利用のしやすさや使い勝手のよさを聞いている。施設を選ぶのは学校であるので、情報をしっかり確認しながら、伝えていきたい。

問3 施設の維持管理、運用だけでなく、9市1町の子どもたち全体の健全な育成を守る立場でどのような議論がされたのか。

答3 尼崎市が一部事務組合からの脱退を申し出たとき、脱退せずに施設を維持していくことを前提に協議したいと、構成する市の副市長が集まり協議した。宝塚市は子どものためにと常に発言し、脱退ではなくみんなで使っていくための議論をしようと提案したが、各市の事情によりまとまらなかった。

解散に向けて2年かけているので、子どもたちの代替施設については、本市を含め、各市町はきちんと議論されたと受け止めている。

問4 財産処分に伴う関係市町負担金として、本市の負担額は、2,750万円、退職金につ

いては、500～600万円が見込まれている。これは、解体して地権者に返却した場合の費用と比べて少なかったのか。

答4 解体する場合の費用は、令和3年に簡単に見積もった段階で2億8千万円から4億2千万円程度かかると見込まれていた。物価の高騰もあるので、現在はおそらくそれより高くなると見込まれるため、利用の観点でも、金額の観点でも今回の形がベストであったと判断している。

自由討議 なし

討論 なし

審査結果

議案第93号 可決（全員一致）

議案第94号 可決（全員一致）

議案第95号 可決（全員一致）